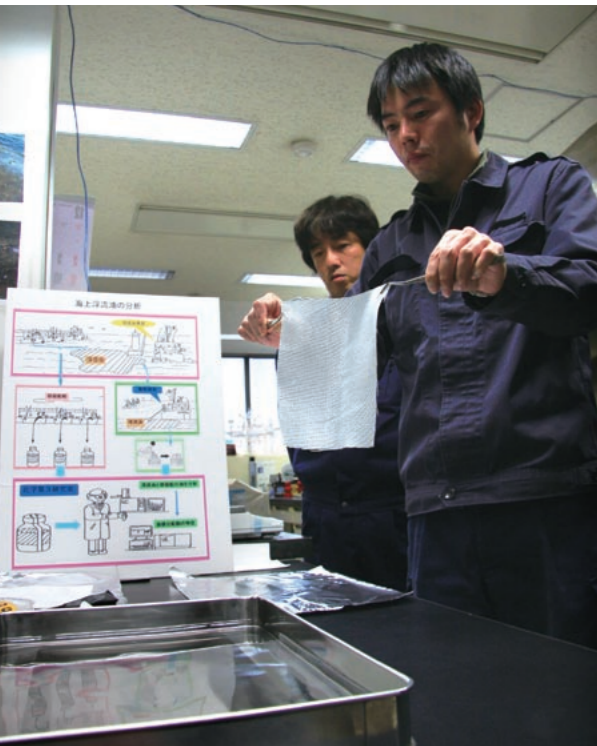




灯台のレンズの修理方法についても細かく解説。灯台は海の道しるべだ



立川の海上保安試験研究センターでは、海上に浮遊する油の検査方法について学んだ

織強化へのヒントを得るためだ。視察中、突然、無線から東京湾にサーフボードが浮いているという情報が入ってきた。一気に基地内に緊張感が走る。「通報があったら速やかに出動する。常に万全の体制で臨めるよう、日々の訓練、チームワーク強化に力を入れています」と宮下悟基地長が説明する。続いて「第三管区海上保安本部羽田航空基地」へ。いち早く現場に到着するため、海上保安官は航空機も使用する。「機材の点検はどれくらいの頻度で行っているか」「足りない部品の補充は誰が管理しているのか」。次々と質問を投げ掛ける研修員たち。フィリピン沿岸警備隊のパプロ・ゴンザレスさんは「いかなる時も言い訳ができない仕事。日本の規律、誇り、技術を見習いたい」と話して

いた。この研修で特徴的なのは、日本の海上保安官3人が補助講師という立場で、研修員とすべての時間を過ごしていること。日本とASEANの海上保安官が、共に学びを深めることが目的だ。「ASEANといっても、それぞれの国で体制も重視する項目も違う。その情報を共有し合えるのは意義深い」と、第十一管区海上保安本部の馬場典夫海洋情報監理課長は話す。

### 海上保安を 試験研究部門で支える

海の安全を守る縁の下の仕事。それがもう一つの研修先、東京・立川市にある「海上保安試験研究センター」だ。灯台などの航行援助システムの研究、潜水士が装備

する機材の開発、海洋汚染物質の分析、船員手帳などの偽造・変造の鑑定。試験研究部門を設置し、さまざまな角度から海上保安の仕事を支えている。羽田から立川に移動してきた研修員たちは、まずは、海の公害の検査部門を見学。海の汚染の大半を占めるのが、船から流出する燃料油などと言われている。海上に浮遊する油の採集方法、油処理剤の安全性の判断に活用するプランクトンなどについて、詳しく説明を受ける研修員たち。ASEAN諸国では、まだまだ普及が進んでいない分野。自国にそのノウハウを持ち帰るべく、全員が熱心にメモを取っていた。



研修で一堂に会したASEANと日本の海上保安官。広島、京都、横浜、東京を回り、海上保安関連施設を視察した

また、センターは「立川広域防災基地」の一角にあり、災害発生時には、警察、消防、海保、自衛隊などと即時に連携できる体制をとっている。災害発生時におけるセンターの役割などについて聞き、研修員たちは「大災害時には組織間の連携がカギとなる。同じ敷地内であれば情報共有もしやすいですね」と話していた。1カ月かけて、呉市や舞鶴市の教育施設、横浜市の海上保安基地なども視察した研修員たち。同じ釜の飯を食べながら、日夜、議論を交わした。「ASEANの海上保安組織は、今まさに成長の過程にあります。勢いのある彼らと時間を共にすることは、日本にとっても学びが多い」と、この研修の企画・運営を担当した海上保安庁の遠山純司さんは話す。

苦しい、疲れた、もうやめた、では人の命は救えない。これは、羽田特殊救難基地のモットーだ。それを体現することく、日本の、世界の海の安全を守るため、海上保安官たちは厳しい訓練を積み重ねている。「技術はもろろん、一人一人の士気の高さが素晴らしい。この気風を自分たちの組織にも持ち込みたい」と、マレーシア海上法令執行庁のヌル・ザカリアさんは意気込む。広大な海を共に守っていく。JICAの研修を通じて一つになったその思いが、海を超えて、さらに大きな力となることを期待したい。



羽田航空基地の増田尚道・基地長とマレーシア海上法令執行庁のザカリアさん

## アセアン from ASEAN

近年、著しい成長を遂げる東南アジア諸国連合(ASEAN)。その国々の海上保安官は、アジアの海を守る。仲間だ。JICAは彼らが共に学び、理解を深め合えるよう、日本で研修の場を提供している。

# 共に学び、 共に進むために



2012年11月下旬の東京。冬の始まりを告げるかのように、朝から冷たい風が吹く。頭上に広がるのは真つ青な空。1機、2機と、航空機が雲の中に消えていく。この日の研修のスタートは、羽田空港のすぐそばにある「第三管区海上保安本部羽田特殊救難基地」。ここには、日本の海上保安官の中でも、高度な救難技術を有する精鋭たちが集結。昨年夏に公開された映画「海猿」の最新作の舞台としても知られている。五感を使って、日本の海上保安官からすべてを吸収したい。今回の研修に集ったのは、ASEAN(東南アジア諸国連合)5カ国の海上保安機関の幹部たち。日本の海上保安の現場を回り、自国の組

羽田特殊救難基地での研修。設立の歴史や体制などについて講義を受け、施設や機材を視察した

